

玉川ダム融雪出水による防災操作の効果

～防災操作により約579万立方メートルを貯留～

平成23年4月30日の低気圧の降雨の影響に伴う融雪出水により、玉川ダムでは防災操作を行いました。

雨は30日15時頃から降り始め、玉川ダム流域の平均累加雨量は107mmに達し

5月1日20時41分には、ダムへ流れ込む水の量が最大となり、1秒間に約314m³の水が流れ込んできました。

この時に玉川ダムでは、1秒間に約198m³の水を流すことで、流れ込む水の量の約5分の3を下流の川へ流しました。残りの約116m³の水はダムに貯留しました。

今回の洪水で玉川ダムの貯めた水の総量は、5月1日14時～2日5時までの間で約579万m³の水を貯めたこととなります。

※東京ドームに入る水に換算すると、約4.7個分を貯めた事となります。

※25mプールに入る水に換算すると、約11,580杯分を貯めた事となります。

玉川ダムでは、昨年度（H22）に8回の防災操作を行い下流河川の増水・氾濫防止に効果を発揮してきました。

今回の防災操作は、今年度2回目の防災操作となります。

<5月1日20時41分時点の防災操作>

- ・ 最大流入量 毎秒 約314立方メートル
- ・ 最大流入時の放流量 毎秒 約198立方メートル
- ・ 貯留量（調節量） 毎秒 約116立方メートル

※最大流入量＝ダムに入ってきた1秒間の最大の水の量

※最大流入量時の放流量＝1秒間に最大の水の量が入ってきているときのダムから流している水の量

発表記者会：秋田県政記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 玉川ダム管理所

管理所長 千葉 和民（内線：201）

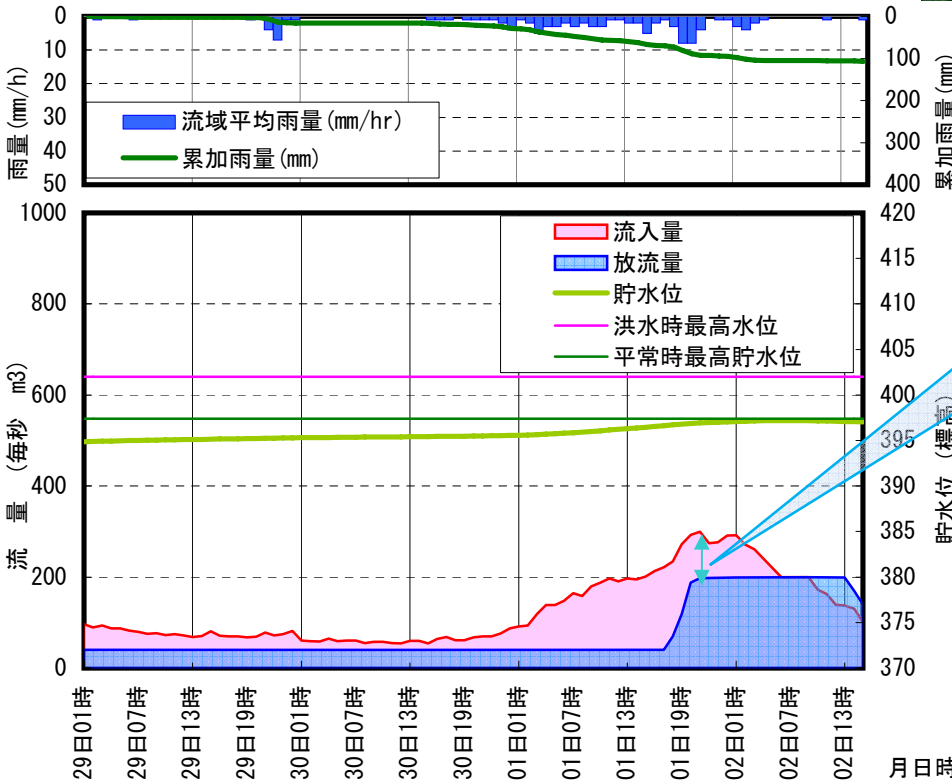
管理係長 山谷 正樹（内線：332）

〒014-1205 秋田県仙北市田沢湖玉川字下水無92

TEL：0187-49-2170 / FAX：0187-49-2166

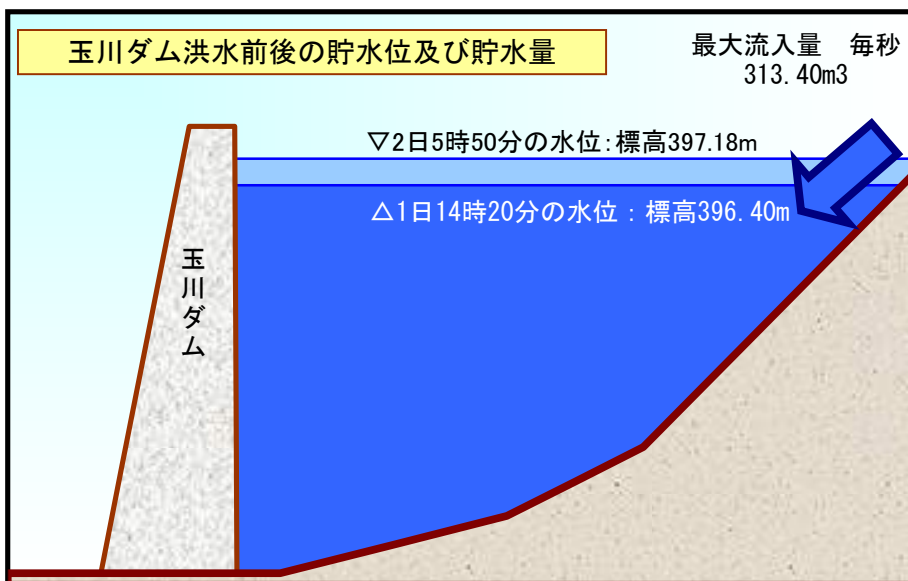
平成23年4月30日・低気圧の降雨 による融雪出水における玉川ダムの効果

今回の洪水において、玉川ダムでは最大流入量 毎秒313.4m³(1日20時41分)を記録しました。1日14時20分には洪水流量(ダムへの流入量が毎秒200m³)に達し、洪水調節を開始。579万m³をダムに貯め込み、下流被害の軽減に努めました。



流域平均時間雨量最大
8.0mm/h (01日19時)
流域平均累加雨量
107.0mm

最大流入量 毎秒
313.4m³(1日20時41分)
のうち、毎秒
115.76m³(37%)をダム
に貯め込みました



579万m³の水をダムに貯めました

これは、
東京ドーム 約4.7個分
(124万m³)

25mプール 約11,580杯分
(約500m³)
に相当します